

平成26年度富士見市下水道事業会計予算（概要）

1 予算概要

(1) 予算編成概要

下水道の取り巻く状況は、人口増加の鈍化や高齢化社会、生活様式の多様化やエコ指向の向上から節水型機器が普及するなど、下水道収益が伸び悩んでいる。

公共下水道の整備は、平成22年度に市街化に編入された水子地区地区計画地内、及び南畑地区について、引続き計画的に整備促進を図る。

また、別所雨水ポンプ施設、尺地堀水路の雨水整備について、計画的に更新、整備を図る。

今後も市民生活の安心・安全のため、都市環境の改善を図り、都市の健全な発展と公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全に資するため、計画的に整備を進めるとともに、維持管理に努め、経費の削減はもとより、健全で効率的な経営を推進するための予算を編成した。

また、地方公営企業法の改正により、見直しを図られた地方公営企業会計基準に基づき作成される初めての予算となる。

（注）アンダーラインの部分が新会計基準に基づく新たな項目

(2) 予算規模

第3条予算（収益的収入及び支出）の収入は、前年度比17.05%増の18億4,191万円、支出は、前年比2.32%減の15億4,824万1千円で、収支差引で2億9,366万9千円の黒字となっている。

第4条予算（資本的収入及び支出）の収入は、前年度比36.10%増の11億4,568万3千円、支出は、前年度比21.67%増の19億720万1千円となり、収支差引では7億6,151万8千円の赤字が見込まれる。

(3) 財源不足額

4条予算の赤字分については、損益勘定留保資金等で補填する。

2 予算（収入）の主な特徴

(1) 3条予算（収益的収入）

○ 営業収益

下水道使用料は、人口増加の鈍化や生活様式の多様化、エコ指向の向上から節水型機器類が普及するなどにより、収益が伸び悩んでいることから、前年比3.65%増の9億6,541万3千円となるが、税抜き額で比較すると前年度比0.77%の増になる。

他会計負担金は、主に一般会計からの繰入金として、前年度比7.55%減の3億1,448万2千円とした。

○ 営業外収益

他会計補助金は、前年度比6.67%減の2億8,000万円とした。

会計基準の見直しにより今年度より新たに設けられた長期前受金戻入は、2億7,184万6千円を計上した。

雑収益は177万6千円とした。

消費税及び地方消費税還付金は、見込額として616万2千円とした。

(2) 4条予算（資本的収入）

企業債は、前年度比33.75%増の6億8,040万円とした。

国庫(県)補助金は、前年度比118.75%増の2億9,400万円とした。

負担金は、受益者負担金と一般会計からの繰入金として、前年度比13.80%減の1億7,128万3千円とした。

3 予算（支出）の主な特徴

(1) 3条予算（収益的支出）

会計基準の見直しにより、各費目の人件費に賞与引当金繰入額を、総係費と特別損失に貸倒引当金繰入額を計上した。

○ 営業費用

①管渠費は、管渠の維持管理に要する経費で、主に委託料、修繕費、工事請負費、負担金等で前年度比1.85%増の5億823万8千円とした。

【主な支出】

- ・荒川右岸流域下水道維持管理負担金 3億8,750万6千円
- ・維持管理・監視業務・保守点検等業務委託 4,141万5千円
- ・人孔蓋取替工事等 2,132万7千円

②業務費は、使用料徴収業務等に要する経費で、前年度比1.34%増の4,711万8千円とした。

【主な支出】

- ・下水道使用料徴収事務委託費 3,734万1千円

③総係費は、前年度比2.44%減の3,837万5千円とした。

【主な支出】

- ・貸倒引当金繰入額 347万9千円

④減価償却費は、構築物、車両運搬具の減価償却として、6億4,201万7千円とした。

○ 営業外費用

①支払利息は、前年度比8.21%減の2億9,127万3千円とした。

○ 特別損失

①その他特別損失に、期末勤勉手当分と貸倒引当金繰入額として、1,962万円を計上した。

(2) 4条予算（資本的支出）

○ 建設改良費

①公共下水道建設事業費は、前年度比27.30%増の5億3,259万1千円とした。

【主な支出】

・江川第2処理分区（西口）	}	等 工事請負費	4億3,850万円
・柳瀬第9污水管渠築造工事			
・私道対策事業			
・舗装本復旧工事			
・取付管設置工事			
・尺地掘雨水幹線築造工事			
・委託料			7,340万円

②特定環境保全公共下水道建設事業費は、前年度比98.55%増の4億686万3千円とした。

【主な支出】

・新河岸第14污水管渠築造工事	}	等 工事請負費	3億6,830万円
・舗装本復旧工事			
・取付管設置工事			
・委託料			
			1,850万円

③流域下水道事業費は、前年度比16.99%減の6,798万円とした。

【主な支出】

・荒川右岸流域下水道事業建設負担金	6,798万円
-------------------	---------

○ 償還金

①企業債償還金は、前年度比2.75%増の8億208万4千円とした。

・公共下水道償元金償還金	5億4,080万3千円
・特定環境保全公共下水道償元金償還金	1億1,751万5千円
・流域下水道償元金償還金	9,234万8千円
・公共下水道借換償元金償還金	2,999万6千円
・資本費平準化償元金償還金	2,142万2千円

企業債償還（元金）の状況は、平成26年度末時点において86億805万6千円の未償還残高となる見込です。

■平成26年度下水道事業会計予算（3条 税込）

収 入 (単位：千円)

款 項	目	本年度予算額	対前年度増減額
1 下水道事業収益		1,841,910	268,248
1 営業収益		1,281,845	10,127
	1 下水道使用料	965,413	34,001
	2 他会計負担金	314,482	△ 25,674
	3 その他の営業収益	1,950	1,800
2 営業外収益		560,064	258,121
	1 受取利息	280	113
	2 他会計補助金	280,000	△ 20,000
	3 長期前受金戻入	271,846	271,846
	4 雑収益	1,776	0
	5 消費税及び地方消費税還付金	6,162	6,162
3 特別利益		1	0
	1 過年度損益修正益	1	0

支 出 (単位：千円)

款 項	目	本年度予算額	対前年度増減額
1 下水道事業費用		1,548,241	△ 36,775
1 営業費用		1,236,048	△ 19,430
	1 管渠費	508,238	9,219
	2 業務費	47,118	625
	3 総係費	38,375	△ 958
	4 水洗化促進費	300	△ 10
	5 減価償却費	642,017	△ 28,306
2 営業外費用		291,773	△ 34,037
	1 支払利息	291,273	△ 26,037
	2 雑支出	500	0
	3 消費税及び地方消費税	0	△ 8,000
3 特別損失		19,920	16,692
	1 過年度損益修正損	300	△ 2,928
	2 その他特別損失	19,620	19,620
4 予備費		500	0
	1 予備費	500	0

■平成26年度下水道事業会計予算（4条 税込）

(単位：千円)

款 項	目	本年度予算額	対前年度増減額
1 資本的収入		1,145,683	303,875
1 企業債		680,400	171,700
	1 企業債	680,400	171,700
2 国庫(県)補助金		294,000	159,600
	1 国庫(県)補助金	294,000	159,600
3 負担金		171,283	△ 27,425
	1 負担金	171,283	△ 27,425

(単位：千円)

款 項	目	本年度予算額	対前年度増減額
1 資本的支出		1,907,201	339,707
1 建設改良費		1,104,117	318,258
	1 建設総係費	96,683	16,008
	2 公共下水道建設事業費	532,591	114,215
	3 特定環境保全公共下水道建設事業費	406,863	201,950
	4 流域下水道事業費	67,980	△ 13,915
2 償還金		802,084	21,449
	1 企業債償還金	802,084	21,449
3 予備費		1,000	0
	1 予備費	1,000	0